

PROFILE

村田 智明

CHIAKI MURATA



株式会社ハーズ実験デザイン研究所 / METAPHYS 代表取締役

大阪公立大学 研究推進機構 21 世紀科学研究センター

イノベーション教育研究所	客員教授
一般財団法人大阪デザインセンター	理事
一般社団法人日本デザインコンサルタント協会	理事
NPO 法人エコデザインネットワーク	理事
大阪府研究開発型企業振興会 (ORD)	顧問
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会	ビジョンコミッティ
総務省地域人材ネット	登録アドバイザー
公益社団法人国土緑化推進機構	委員
NPO 法人資源リサイクルシステムセンター	アドバイザー
共同組合ジャパンデザインプロデューサーズユニオン	会員
九州大学	非常勤講師
愛知県立芸術大学	非常勤講師

大阪市立大学工学部応用物理学科卒。三洋電機退社後、1986 年ハーズ実験デザイン研究所を設立。現在はデザイン思考から企画開発をサポートするデザインシンクタンクとして活動。提唱する S.S.F.B 法や感性価値ヘキサゴングラフなどがワークショップツールとして広く活用されている。プロダクトを中心に、G マーク金賞、DFA グランプリ、RED DOT BEST OF BEST、ジャーマンデザインアワード WINNER 賞、iF DESIGN AWARD GOLD、ソーシャルプロダクツアワード大賞、DIA SilverAward など国内外のデザインアワードで 200 点以上を受賞。オムロンの血圧計「スポットアーム」や Microsoft「Xbox360」を始めとする世界記録的な販売数を達成したデザインで、Newsweek の「世界が注目する日本の中小企業 100 社」に選定される。自ら運営するコンソーシアムデザインブランド METAPHYS は、「行為のデザイン」に基づいて協賛企業のコアコンピタンスを活かし、開発から販売までを実践している。また、経産省・中小機構の感性価値創造ミュージアムや東京都美術館新伝統工芸プロデュース事業、越前の iiza、鳥取のなんぶ里山デザイン大学、新潟の百年物語やデザインラボ、奈良県産材の TEUD など、地域振興にも多く携わる傍ら、eco products design competition 2007 ~ 2010、social design conference 2011 ~ 2015 の開催を通じて「ソーシャルデザイン」という言葉を生み出し、社会性を持ったデザインの啓蒙に尽力している。著書に『ソーシャルデザインの教科書』、『問題解決に効く行為のデザイン思考法』、『感性ポテンシャル思考法』、『「バグトリデザイン」事例に学ぶ「行為のデザイン」思考』がある。

主な審査員歴

東京都商品デザインマーケッ / 2004~2005

国際デザインコンペティション / 2005

第 2 回ものづくり日本大賞選考分科会委員 / 2007

IF デザインアワード 2009

福岡産業デザインアワード / 2009

computex Taipei / 2010

ニイガタ I D S デザインコンペティション / 2010 . 2016 . 2022 . 2023

同 審査委員長 / 2022 . 2023

大阪府デザインサポートプロジェクトコンペティション 2014 . 2015

タイデザインエクセレントアワード / 2010 ~ 2011

Design for Asia Award / 2011 . 2014

HKDA アワード / 2012

日本デザイン振興会 G マーク / 2002~2013、2015~2016
2019-2021

京都デザイン賞 / 2015-2022

東大阪ツーリズム土産物コンペ審査委員長 / 2017

鳥取スタートアップキャンプ アドバイザー / 2017 ~ 2020

DIA (Design Intelligence Award) / 2020

シンガポールデザインアワード / 2020